

質疑並びに一般質問

各議員の氏名の右にあるQRコードを読み取ると、その議員の議会での録画映像を御視聴になれます(公開期間は4年間)。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常1人60分の持ち時間を50分としました。20人の議員が市の政策について提言し、課題や市政運営等について、ただしました。ここでは、その一部をお知らせします。※この記事は各議員が要約して執筆しています。

柏清風

さくらだしんたろう 桜田慎太郎



新型コロナウイルス感染症対策について

- Q ワクチン供給量の見通しは。
A 10月の初旬までに12歳以上の人口の8割を超える市民の方が接種できるだけのワクチンが供給される。
- Q ワクチン接種の進捗状況は。
A 市民の7割以上の方が11月末までに、2回目の接種が完了できる見込みである。
- Q 病床のさらなる確保状況は。
A 中等症や重症患者の受入れ状況が困難となっていることから、県において重症者用の病床を中心に、さらなる病床の確保を図っている。
- Q 入院待機ステーションの開設状況は。
A 県の整備により、現在千葉地区で運用が開始され、今後特に感染者数が多い東葛地区に設置できるか検討を進めている。
- Q 宿泊療養施設の拡充状況は。
A 本市大島田にある民間の宿泊施設を借り上げ、9月15日から宿泊療養施設の運営を開始する予定である。



酸素濃縮装置

- Q 自宅療養者のための酸素濃縮装置の確保状況は。
A 常時60台を確保している。
- Q 自宅、宿泊療養者に配付するパルスオキシ

- メーターの確保状況は。
A 市で、1,000個を配備している。
- Q 酸素ステーションの開設状況は。
A 県が開設に向けて検討している。市では自宅療養者の夜間の急変に備えて、市立柏病院において8月25日から夜間緊急外来を開設し、診療並びに酸素投与等の一時的な処置を行う。
- Q 新型コロナウイルスに感染した妊産婦、子供への対応強化状況は。
A 妊娠中の患者に対する疫学調査時の基礎疾患や既往歴、現在の症状に加え、妊婦健診の状況等を聞き取り、療養先の調整を実施する。さらに、コロナの症状経過のみではなく妊娠中の異常の有無なども聞き取るようにした。
- Q 柏市中小企業資金融資制度(知+)2,000万円の融資枠拡充、返済期間、据置期間の延長はできないか。
A 千葉県信用保証協会、市内金融機関とも協議の上、検討する。

千葉北西連絡道路について

- Q 令和3年8月30日に開催された第2回千葉北西連絡道路検討会の内容は。
A 令和3年6月に策定した千葉県広域道路交通ビジョン、千葉県広域道路交通計画において千葉北西連絡道路が高規格道路に位置づけられたことや千葉県北西地域における交通状況について協議した。参加した市からは計画の早期具体化や利根川の堤防強化と併せたルート選定の検討などの意見があった。今後も早期実現に向けた取組の推進を要望していく。

柏清風

むらこし 村越 誠



小中学校活動再開

- Q 新型コロナウイルスに感染する事例が急増している。学校再開の現状と対策は。
A 学校が子供の健やかな学びを保障するとともに、居場所としての身体的、精神的な健康を保障するという役割を担うことを勘案。学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、感染症リスクの高い学習活動を避け、可能な限り感染リスクの軽減に努める。オンライン学習の通信環境をチェックし、子供たちの学びを止めない取組をする。

学校給食

- Q 学校給食センターによる安全安心な給食の提供をするためには御苦労がある。給食調理現場の方々の努力や工夫に支え



大島田に所在する学校給食センターの回転釜

- られている。今回整備する給食センターでは、給食がさらにおいしくなる工夫をどのようにするのか。
A 新たに整備する給食センターは、調理食数に適した規模・最新の厨房機器を導入・調理可能な献立を増やし、小中別の献立で給食が提供できる。可能な限り自校式給食の良さを取り入れる。
- Q 学校給食衛生管理基準を満たさない給食室があることは問題ではないか。
A 調理や配膳、洗浄等の作業を工夫し、安全安心な給食提供に努めている。調理室内の段差や2階建てで整備した施設での、食材やごみを上げ下ろす手間が増えている。既存の施設構造では効果的な場所にエアコンを設置できない課題がある。
- Q 給食センター配送校の栄養士と食物アレルギー対応・命に関わる対応は。
A 学校におけるアレルギー対応は、組織的に対応すべきものと考え、研修会を通じて事例の情報を共有している。
- 通学時等の安全安心
- Q 事故を防ぐためにどのような調査・安

全対策を講じたのか。

- A 各関係機関による現地での合同点検を実施し、課題を共有して安全対策に取り組んでいる。安全確保に努める。
- 柏市第五次総合計画(知+)の前期基本計画を終えて
- Q 東部地区課題と後期基本方針の柱は。
A 柏市都市計画マスタープラン(知+)とも連動し、手賀沼や自然環境等を活用しながら魅力あるまちづくりを継続して進める。
- Q 優良田園住宅、狸穴地区の開発は。

- A 平成28年に建設促進に関する法律に基づく事業を認定した。優良田園住宅の新たな展開について地域の関係者と協議を行う。
- Q そごう柏店の回転展望レストランは柏のシンボリックな存在。今後の方向性は。
A そごう跡地は駅前の交流の場所やにぎわいの創出につながる重要な場所であると認識している。商業、業務機能等、多様な機能の集積が図られるよう、利活用に向けた働きかけを行う。

柏清風

ふくもと 福元 愛



ワクチン接種/子どもの感染

- Q かかりつけ医による個別接種について、運用上の平等性は保たれているか。
A 施設規模などにより患者数が異なり、一律に市の見解を示すには困難な状況だ。
- Q 家庭内感染で極限まで追い詰められる働く世代に、地方自治体ができる支援は。
A 子育て世代の声を受け止め、思いに寄り添い、実情に応じた支援に取り組む。
- まちづくり/柏市第五次総合計画(知+)
- Q 市民が住み続けたいまちであるため、ニーズや課題に対してどう努力するか。
A 生産年齢人口の維持定着のための子育てや教育分野を中心に魅力あるまちづくり、セカンドライフに生きがいや充実感が得られる支援を両輪で推進している。
- Q 民間サービスの調和と活用の状況は。
A 企業と包括連携協定を締結し、多様な主体と協働して効果的な公共サービスを提供できるものとする。

学びの保障/教員免許更新制(知+)の廃止

- Q 登校自粛や給食を食わず下校する等、各家庭の判断を尊重。様々な議論がある中、どう公教育を維持すべきと考えるか。
A 登校自粛の場合はオンライン学習を実施する。給食提供は8割の児童生徒が受けている。健やかな学びや子供たちの居場所として身体的・精神的な健康を保障するため、最善の対策を講じる。

- Q 更新制廃止により期待できる効果、及び本市独自の教員研修の強化・充実は。
A 職責・経験・適性に応じた個別最適な研修の実現、免許状の休眠状態の解消と講師登録向上による教員不足の緩和、更新講習の管理・勤奨業務廃止による管理職の働き方改革の3点が期待される。また、信頼される質の高い教員育成を目指し、一層の研修体制の充実に努める。

フレイル予防(知+)、ポイント制度/通いの場

- Q フレイル予防の認知度向上への取組と、期待される効果は。
A 今後もフレイルチェック等、地域ぐるみの活動や様々な啓発媒体を活用した取組を推進したい。フレイル予防により、介護認定を受ける年齢を遅らせることで健康寿命の延伸につながり、介護保険料の抑制も期待できることから、重要施策として取り組む。
- Q コロナ禍における通いの場の状況は。
A 開催の可否の判断に各団体が苦慮している。活動を継続・再開できるよう補助金交付等について柔軟に対応している。
- Q オンライン事業をフレイル予防ポイントの対象事業とすべきと考えるが、その可能性は。
A 現状はポイント付加を携帯端末で行っているが、今後はオンライン事業に関しても付与できる仕組みを検討する。

柏清風

やまだ かずひと 山田 一



市長の政治姿勢について

- Q クラウドファンディングによるまちづくりの財源確保は。
A 少子高齢化や人口減少の進む中、まちの魅力向上や活性化に資する事業への活用については、多くの方々の賛同、共感が得られるよう、先進市の事例を参考に、より積極的に進めていきたいと考える。
- まちづくりについて
- Q 柏駅周辺の再生における柏駅西口北地区市街地再開発事業と柏そごう跡地の重要性、並びにネットワークの鍵となる柏駅北口整備の重要性について問う。
A 基本構想の将来目標では、商業都市から融合都市への転換としており、柏駅周

- 辺エリアをゾーニングし、それらをつなぐネットワークにより一体的なまちづくりを推進する。まちのにぎわいに直結する東西の連絡強化により回遊性をさらに高めるには、北側自由通路や北口改札の新設も視野に入れていくことが重要と考えている。

Q 特にJRのより積極的な参画に期待す



柏駅付近の航空写真



パルスオキシメーター

皮膚を通して動脈血酸素飽和度(SpO2)と脈拍数を測定するための装置。新型コロナウイルスの患者の病態を把握するために、世界中で広く使われ、その有用性が再認識された

柏市中小企業資金融資制度

中小企業者や創業者が企業経営に要する資金が必要となった場合、千葉県信用保証協会と市内の金融機関の連携と協力の下で融資を行う制度のこと。支払利息の一部を市が負担することにより、低利での資金調達が可能となる

柏市第五次総合計画

将来都市像である「未来へつづく先進住環境都市・柏 笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点」の実現に向けて、3つの重点目標「充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち」「健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち」「地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち」の達成を目指すため、28年度を開始年度として策定した市政を総合的かつ計画的に進めるための指針

るものであるが、市と鉄道事業者との柏駅の機能強化や再整備について、どのような話し合いが持たれているのかを問う。

A 柏駅を管理するJR東日本、東武鉄道との連携が不可欠であると考えており、JR東日本からも、駅周辺の将来の再開発やまちづくりの成熟度を踏まえ、協議していきたいとの意向を受けている。協議を進め、北側自由通路の整備やコンコースの拡幅等、駅舎や駅周辺の整備が行われ、都市施設と一体的な空間が形成され、柏の玄関口としてふさわしい魅力的な駅前空間を創出できるよう目指していく。

Q 柏そごうが閉店し、商業のまちとしたにぎわいが衰退し活気もない。本市における商圈把握はどのようであるか問う。

A 本年度は商業実態の調査実施年度であり、本市の商圈や吸引率あるいは商圈住

民の買い物志向、柏駅周辺の大型店の年間売上額の調査を行い、この調査結果を基礎資料として、今後の商業施策、あるいは経済活性化策などを検討していく。

福祉行政/認知症にやさしいまちづくり

Q 高齢化が進み認知症の人の絶対数が多くなる社会に、認知症の問題を医療や介護等の対応だけに委ねるのではなく、認知症の方でも暮らしやすくなる社会ビジョンも必要であると考え。本市はどのような将来像を持っているのかを問う。

A 御指摘のとおり認知症の方を社会全体で支えていくことが重要な課題と認識している。状況課題も多様化、複合化しており、きめ細かな支援が重要であり、まずは適切に医療現場につなげる支援を重要な入り口として、「認知症にやさしいまち柏」を目指して取り組んでいく。

公明党

おがわ ゆりこ 小川百合子



新型コロナウイルス感染症について

Q ワクチン予約時にアクセスが集中し予約が取れない状況を打破するための一括したワクチン予約システム構築が必要と考えるがどうか。

A 予約を一括的にすることで市民は予約の選択と予約の取得がしやすくなり医療機関は電話の対応に追われることがなくなり、通常の診療に影響が出ないなどメリットがある一方で、医療機関は実務の増加、接種者の属性を選択できないなどの課題が挙げられる。こうした点を踏まえて予約一括化の導入を検討していく。

Q ワクチンを希望する妊婦さん、配偶者への接種状況についてはどうか。

A 8月23日の集団接種予約から妊婦の接種枠を設け接種機会を確保している。

Q 受験生の優先接種枠が必要と考えるがどうか。

A 受験時期並びにそのときの接種状況を見据えて検討していく。

Q 本市の12歳以上の若い世代への情報の発信や接種向上への取組については。

A 交通機関で来場しやすい接種会場の設置や夜間や休日の接種ができるよう取り組んでいる。自発的な意思決定により若い方々の接種向上に努める。

Q 医療、介護従事者に対し感謝を表すお礼や謝礼などが必要ではないか。

A 在宅医療支援の実施に御協力いただ

ている医療従事者に係る負担への支援を検討している。

通学路の安全対策について

Q 本市での安全点検はどのように行われているか。

A 八街市の事案を踏まえ過去にヒヤリハットがあった場所の危険性も合わせて依頼し、合計98か所について警察、道路管理者と教育委員会で協議した。各機関が取り組む対策について進捗を確認し、子供目線に合った交通安全向上に努める。

Q 違法迷惑駐車、飲酒運転について県との連携や取組はどうか。

A 児童生徒には交通安全教室を実施し、交通安全について掲載したお便りを保護者に配付。一般市民に対しては柏警察と連携し、交通安全運動に合わせてキャンペーン等を実施し、飲食店組合の協力を得て、周知を図っている。迷惑車両については駐車車両の取締り強化を依頼するなど対応している。

Q 土砂災害警戒区域の通学路は何か所か、また安全対策についてはどうか。

A 4か所から7か所に増えている。適切な通学路の検討や土砂災害警戒情報が発表された際の登下校の指導等、状況に合わせて対応につなげていく。

女性の視点からの防災について

Q 柏市防災会議女性委員の割合、内訳、課題についてどうか。

A 女性比率は8名の登用で、全体の18.6%となっている。女性割合を高めるよう努めているが、充て職が多く、それが課題の一つであり社会全体で活躍が拡大されることも重要。

Q 女性委員の割合を30%に引き上げてもらいたいと思うがどうか。

A 比率を上げていきたいと思っている。



写真はイメージ

公明党

なかじま たかし 中島 俊



新型コロナウイルス感染症対策について

Q 任期終了までの取組について市長の意気込みを問う。

A コロナウイルスは、ある程度の周期をもって感染を繰り返しているため、今落

ち着いているといっても、今後、再び増加することが想定される。予断を許さず、今後の対応策としても、病床に入れない方のホテル療養、自宅療養者のケアの部類に関しては現在も行っているが、



都市計画マスタープラン

都市計画法に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として、市町村ごとに定める計画のこと。本市では平成21年に策定し、まちづくりに関する様々な取組を進めてきたが、策定から約10年が経過したことから、社会経済情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、柏市立地適正化計画の策定とあわせ改訂を行った



教員免許更新制

その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けるため、平成21年4月から導入された。新免許状には10年の有効期間が付される。有効期間を更新して免許状の有効性を維持するには、2年間で30時間以上の免許状更新講習の受講・修了が必要となる



今まで以上に在宅医療を行う医師、介護施設、訪問看護師の方々と連携をし、カクテル療法や薬の投与を早めに行う。自宅療養、あるいはホテル療養の段階でも症状が悪化しないように、食い止める部分を医師会や各専門家と相談をし、体制をつくるのが市として大事なことだ。情報発信の部分についても、市民に安心感を与えられるように努力を怠らないようにする。

Q 若者層接種促進について、また、妊婦と同居家族、里帰り出産で本市に来られている方の集団接種予約枠について伺う。

A 若者層へ、まず、接種しやすい環境をつくるため集団接種会場を柏駅前、柏の葉キャンパス駅前に設置し、夜間の集団接種も延長して行う。情報発信を行いながら、若者層への接種率向上に努めたい。9月14日の集団接種予約枠から妊婦と同居家族の専用予約を受け付けられるようにした。里帰り出産の方については、市内の産婦人科をはじめ、医療機関での接種を案内する。また、集団接種の予約受付でも対応できるように調整し、里帰り出産の方でも身近な場所で接種が受けられるようにする。

Q 本市の場合、ワクチン接種予約は各病院に問い合わせなければ予約できないため、インターネット一括管理の予約への改善をお願いしたいがどうか。

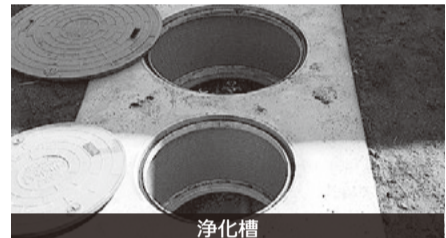
A ネット予約の方が利便性が高いのは事実だと思う。当初は、問診の部分が大事だと思い、かかりつけ医が電話で問い合

わせを行いながら進める方法を取った。今後は、電話対応を一部残しても、ネット対応を進めたいと思う。医師会と課題を協議しながら検討を考える。

浄化槽リノベーションについて

Q 本市は、単独処理浄化槽の割合が他市と比べても高い状況である。手賀沼水質改善のためにも合併処理浄化槽への転換が必要だと思うが。

A 平成12年以降、浄化槽法に基づき、単独処理浄化槽の新設は原則禁止され、既に設置されている単独処理浄化槽の使用者は、合併処理浄化槽の転換に努めるとされている。しかし、浄化槽自体の耐用年数が30年以上であり、設置や転換時の個人負担額が大きいために、合併浄化槽への転換が進まなかった。このため、自己負担額軽減策とし、昨年度から宅内配管工事を補助対象に新たに加えた。また、昨年4月に施行された改正浄化槽法により、生活環境保全に重大な支障を生じるおそれのある単独処理浄化槽の管理者に対し、助言、指導を行うことができるようになった。今後は、制度運用しながら、合併処理浄化槽への転換促進に取り組むつもりだ。



浄化槽

日本共産党

やざわ ひでお 矢澤 英雄



新型コロナ対策

Q 30代の妊婦が感染したが入院できず、自宅で独りで出産し新生児が死亡した。軽症と診断され自宅療養していた60代の女性が死後3日たって発見された。自宅療養者への十分なケアを行ってきたのか。

A 60代の女性は、電話していたが応答がなく自宅を訪問したら亡くなっていた。数日連絡が取れなかったら、保健所と協力して消防職員が訪問する。

学校給食のセンター化(知+)問題

Q 学校給食衛生管理基準を満たすには、給食室の面積が足りないと言うが、建設中の新設小学校は必要とされる面積の69%しかない。それでも基準をクリアしているのであれば、他の学校も今の面積

で基準をクリアできるか調査したのか。

A 各校細かくは検討していない。

雨水冠水対策

Q 気候危機と呼ぶべき非常事態が起きている中、市内でも集中豪雨等の被害が増えている。対応する予算が減っているが、大幅増額すべきではないか。

A 長期・短期の対策を合わせ取り組む。

コミュニティバスの実現

Q 市民が求めるコミュニティバスは導入しないと決めているのか。

A 検討しないことはない。地域と話し合いながら必要なものはやっていく。

Q 民間路線のない柏駅から市役所までの交通手段を、市独自かタクシー会社と協力して早期に実現することはいかがか。

A 現状では難しい。

日本共産党

くさか こ 日下みや子



コロナウイルスによる死亡事例について

Q コロナ感染の妊婦が自宅で出産し新生児が死亡した事例や連絡の取れなかった陽性者の死亡事例をどう総括するのか。

A 陽性者の急増の中で、全てのケースに速やかに対応することがかなわない状況があり、消防局と保健所が連携し迅速に訪問する仕組みを設けた。自宅療養者への健康観察などができる体制を構築した。

国保料の減免について

Q 来年度から実施される未就学児の均等

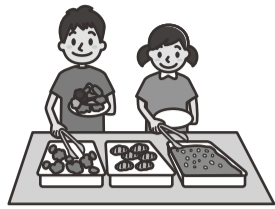
割額の減免の保険料はどうなるのか。

A 2人の未就学児がいる4人家族の所得300万円のケースで45万9,200円が42万2,600円、所得250万円のケースでは現在2割軽減なので、36万8,700円が33万9,400円になる。

学校給食のセンター化(知+)はやめよ

Q センター方式では、行事食やバイキング給食、セレクト給食、お弁当給食などバラエティーに富んだ給食の提供ができるのか。

給食センターではバイキング給食は行ってない。今後新たに整備する給食センターでは実施できるよう検討したい。



コミュニティバスの実現を

本市が平成22年3月策定の柏市総合交通計画で示した「市内どこへでも移動できるよう路線バスやコミュニティバスの運行の充実」はどうか。

12年間で路線バスはかなり充実した。ただ、公共交通空白不便地域において施策が行き届いていないので、地域の意見を聞きながら導入に向けて努力している。

などを助成している。本市も助成を行うてはどうか。

近隣市の動向を注視していく。

高柳西口クラック道路の安全対策

押しボタン式の信号設置が望ましい。改めて警察に要望してはどうか。

横断歩道を設置できない交差点での信号機設置は困難である。

カーブがあっても横断歩道のある所はないのか。

場所によってはある。ここに関しては、つけられないという意見だった。

日本共産党

ひらの こういち
平野 光一



全国に誇れる柏市児童相談所に

児相設置に関する懇談会で、日光市の事例も参考に一時保護ではなく緩やかに預かることができる機能などについて検討する必要があるとの意見が出されている。本市でも具体化できるか。

日光市のNPO法人「だいでょうぶ」は、育児不安や育児疲れを抱えた保護者から子供を一時的に預かるショートステイ事業などを実施している。虐待予防にもつながる有効な取組であり、今後仕組みづくりについて検討していく。

2019年に児童相談所を設置した兵庫県明石市では、国基準の2倍の職員を配置し、弁護士2名が常勤で配置されている。本市での職員配置の計画はどうか。

明石市における算出方法とおおむね同様である。まずは国基準の職員配置を想定した上で、虐待予防の強化のため母子保健、教育分野、発達支援の組織の一部

機能を併せ持った本市独自の体制づくりにも努めていく。



「子供の最善の利益」という言葉が一時保護所のところに書き込まれたのは、一時保護所内での人権侵害について問題意識があるからではないのか。

全国の実態調査で、一時保護所内で子供の人権が守られていない事例がある。子供の気持ち、考えも配慮した上で、人権を守る一時保護所にしていきたい。

定員25人は少ないのではないのか。

一時保護所の施設整備において、保護児童数に合わせて柔軟に対応できるように検討する。

日本共産党

わたべ かずこ
渡部 和子



新型コロナウイルス対策について

コロナの感染者は入院を原則とし、全ての患者に必要な医療を提供すべきでは。

国の法改正で、入院を重症者等に重点化したのはやむを得ない措置である。

感染者の内訳を示してほしいが。

ホテルや病院、自宅療養の実際の人数の公表は今後検討する。

生理の貧困について

流山市のように、生理用品を学校のトイレに常備することを求めるが。

保健室に生理用品を取りに来ることに抵抗がある児童生徒に配慮し、学校での試験の実施を検討する。

市立柏病院の建て替え

コロナに関し市立病院の果たしてきた役割は大きい。建て替えに着手すべきでは。

感染症の収束後、経営改善の取組を確認して判断する。

コロナの影響が続く限り、永遠に建て替えには着手できないということか。

今後状況は変わってくると言われている。しばらく様子を見る必要がある。

布施南地区データセンター

昨年、市は事業者に布施新町側から見た図面を求めたが出されたのか。

現時点では提示されていない。3、4号棟設計が進めば示される予定である。

昨年、都市計画原案等が縦覧されたときの縦覧者や意見書の提出はどうか。

縦覧者は4名、意見書はゼロ件である。

丁寧に説明すれば住民は納得するか。

納得は難しくても、理解はしてもらえる。

日本共産党

むとう みつえ
武藤美津江



中小企業支援

新型コロナの影響で経営が厳しく、先が見えずに苦しんでいる中小企業の皆さんに給付金の支給が必要ではないか。

キャッシュレスポイント還元事業、新たな商品、サービスの開発や販路拡大の取組を支援する事業者支援を実施する。

高齢難聴者支援

船橋市、浦安市に続いて印西市で今年の7月から助成が始まった。高齢者の社会参加、認知症予防として、補聴器購入

費助成を求めるが。

現時点において補聴器購入の助成制度導入は考えていない。

フレイルチェックの中に聞こえに関するチェックシートを作成してはどうか。

フレイル予防の取組の中では、聴力に関してのチェックはないので、ぜひ、入れていきたい。

エアコン設置補助金

高齢者の熱中症対策として、茨城県古河市、名古屋市では、エアコン設置費用

柏愛倶楽部

すえなが やすぶみ
末永 康文



市立病院建て替え問題

市立病院は老朽化のため建て替えることが目的であったが、市長は市民の命と健康を守る立場から、市立病院をどのようにしたいのか。

平成26年に柏の葉地区へ移転建て替えを表明したが、市民の理解がいただけなかった。審議会の答申を受け、病床利用率80%、小児科の入院体制のめどを立て、経営改善に努める必要がある。

布施紀長伸銅跡地のデータセンター

都市計画変更そのものに問題がある。事業者の提案だけでなく、住民を含めた協議会をつくり議論すべきだと考えるが。

地区計画の都市計画が決定され、現在工事が進められている。事業者が行った建築に係る説明会以降、地域で混乱が生じており、周辺住民と事業者とが解決に向け話し合えるよう引き続き調整する。

新型コロナ対策、ワクチン接種

本市はワクチン個別接種を優先してきたが医師会のクリニック・診療所230か所のうち100か所しか接種していない。どのようにお願いしてきたのか。

ワクチン接種は柏市医師会の協力の下、医療機関は約100施設となっている。接種実績に応じてワクチンを配分している。

緊急事態宣言を出すだけで、接種状況や療養ホテルなどどうしているのかさっぱり分からない。療養ホテルも本市でなぜしないのか。県の指示待ちか。

接種の予約システムに関しては、指摘のことに、課題もあるが、やるように努力したいと思う。

ホテルの療養者について、どのような人が療養できるのか。

保健所が状態を調査して、ホテルに

入った方が良いと判断した人を県に報告して、県が調整する。

軽症のうちに点滴を打ったりカクテル療法をして軽症になって帰すのではないのか。本市は、具合が悪くなった人を隔離している。それは逆ではないのか。

患者さんの入院、ホテルの入所は千葉県がルールを決めている。千葉県のルールが変わればそれに従い対応していく。

市民の命を守るんだという強い姿勢が必要で、上から言われてやっているようでは駄目ではないのか。また病院のコロナ病床はいくつあるのか。

コロナ病床は県が調整しており、県は公表していないので答えられない。

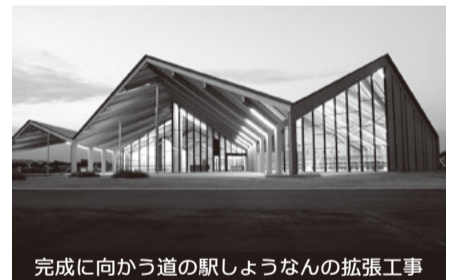
隠すことばかりでなぜ公開しないのか。市立病院は20床確保と言っている。千葉県が隠せと言っているのか。

繰り返しになるが、入院調整は県でやっている。市内の病床利用率は6割程度で、まだ入院できる状況だ。

道の駅しようなん

道の駅しようなんのオープンは12月1日の予定だが、また遅れるとの情報がある。いつになるのか。

道の駅しようなんの拡張工事は令和3年11月30日までの工期となっている。営業するには準備期間が必要なので、各種検査を経て令和3年12月中旬のオープンを予定している。



完成に向かう道の駅しようなんの拡張工事

みらい民主かしわ

すずき せいじょう
鈴木 清丞



新型コロナウイルス対策

重症まで至らない入院患者の人数、病床確保数はどうなっているか。

9月9日時点で、重症まで至らない入院患者は63名、病床確保状況は県で調整されているため、数を示すことはできない。

ホテル等の宿泊療養者の人数は。

宿泊療養者は48名、宿泊療養施設の確保状況も県全域で調整されているため、数を示すことはできない。

自宅療養者で入院調整中の人数は。

入院調整中の方はいない。

自宅療養者で入院を希望している方の人数、うち1人世帯の人数は。

入院希望者の把握はしていない。うち1人世帯の数は、集計はしていない。

通学路の安全確保

手賀の杜中央通りの制限速度は。

時速60キロメートルと認識している。

千葉市方面から取手方面に向かう抜け道になっていて、通行禁止の大型車両も含め通行車両は多くなっているが、危険箇所になっているか。

これまでは危険箇所となっていないが、議員の指摘も踏まえ、速度規制等の交通規制を警察と協議していく。

学校給食の残渣量(食べ残し)

センター方式の方が残渣量が多い。なぜ、その分析をしなかったのか。

献立作成や食育指導の参考のため、残渣量を調査してきたが、自校方式とセンター方式の違いが注目されたことから、発生要因の詳細な分析を行うこととした。



フレイル予防

年をとって心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態を「フレイル」と言い、本市では予防のポイントとして「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」の3つの柱をテーマに様々な予防事業を実施している

センター(方式)化

集中調理施設を設け、複数の学校給食を一括して調理し、各学校に配送するシステム



生理の貧困

経済的な理由などから生理用品を購入することが困難な状態のこと。若者を対象とした調査によると、特に新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中でアルバイトの収入が激減し、節約のために生理用品が買えないなどの問題が取り上げられている

地区計画

都市計画法に基づいて定める特定の地区・街区レベルの都市計画のこと。まちづくりの方針や目標、道路・広場などの公共施設(地区施設)、建築物等の用途、規模、形態の制限などを定めている



ワクチン対応

Q個人医院でのアレルギー対応方針についてはどうか。

A各医療機関での救急対応フローごとに応急手当てを行い、重篤な場合は市内の4病院に救急搬送することになっている。柏市医師会・消防局・保健所で協議、構築し、市内医療機関に周知している。

柏駅周辺の活性化

Q駅周辺の買物客の減少要因については。

A購買行動の変化や緊急事態宣言の発令の影響が大きいと考えられるが、商業実態調査等で分析していきたい。柏駅周辺をはじめとする市内人流回復や事業者の売上げ回復を目的とした事業を着実に実施していくことで、買物客減少についても回復を図ってきたい。

学力・学習状況調査

Q記述式問題の正答率が低く、無回答が目立っているが、状況はどうか。

A改善取組が必要であると考えている。タブレット端末を用いて自分の考えや意見を表現するなど、書くことへの抵抗感を低減するための取組を行っている。



写真：伊藤 一

文化芸術の振興

Q今後の芸術文化に触れる機会の創出をどのように考えているか。

A機会の創出は最も重要な施策の一つと考えている。市民ニーズを的確に捉えつつ、コロナ禍の現在、芸術文化活動にとっては向かい風の中でもデジタル化を図るなど、可能な限り歩みを止めることなく提案ができるよう関係者や関係機関と連携を図っていく。



新型コロナウイルス感染症対策

Q市の対策の遅れ、接種券発送の遅れ、情報発信力の弱さについて、多くの意見を頂戴しているが、市長の考えはどうか。

A接種券は、重症リスクの高い方を優先し年齢を刻んで送った。しっかり情報発信することで理解を求めるときであり、その部分は、反省している。

Qコロナに感染した妊婦が自宅で出産、新生児が死亡した件は、様々な要因が重なっており、市を一方向的に責めることはできない。しかし、市の危機管理能力に問題があったように思うが、いかがか。

A大変重く受け止めている。今後、様々な可能性を想定し、県や国と協議しながら万全の体制を整えていく。

Q昨年の6月開催の総務委員会で、保健

所の体制の強化や人員の確保を要望した。現在の保健所の体制は、十分か。

A兼任職員の増加、応援、委託や派遣の積極的な活用により必要な体制を維持している。

Qワクチン接種ができない市民には、優先的にPCR検査を行ってほしいが。

A症状がある方や濃厚接触者など既存の検査体制を妨げないことが重要である。

Q教職員や保育士の接種状況は。

A教員全体の80%、保育園、幼稚園、児童センター、認可外施設等の職員では、86%が9月中旬に2回接種を終える見込み。

高柳駅東口駅前広場の整備状況

Q進捗状況は。遅れが生じているのか。

A協議、調整の遅れ等により、令和2年、3年で測量及び設計を進めている。



市立病院の建て替えと感染症対策強化

Q市立病院でも新型コロナ患者の受入れを行っているが、今こそ医療体制の充実に取り組むべきではないか。

A一般病棟の48床を感染患者の専用病棟に転用して20床を確保した。仮に病院を建て替えた場合も同様の役割を果たす。

Qコロナで病床を減らしているが、今でも病床利用率80%を目指しているのか。

A現在のところ80%を基準にして達成しているかしていないかの評価はしていない。

Q以前とは状況が大きく異なっており80%という数字に意味はなくなっている。建て替えの議論をどのように進める

のか。

A現在のところ発熱外来を設けるなどの対応を行っているが、その取組を評価する中で建て替えについても判断する。

小中学校の時間短縮による感染抑止効果

Q小中学校の授業時間短縮によりどれだけ新型コロナ感染を抑制できるのか。

A数字的なところは明確ではないが、子どもたちの接触する時間を減らしている。

Q授業時間が4時間だと感染せず、6時間だと感染が広がるかは考え難い。なぜ授業時間短縮という判断になったのか。

A分散登校も選択肢ではあったが、校長会と協議して判断した。

布施南地区データセンター開発問題

Q住宅地に隣接する場所で不十分な規制のまま開発事業を行おうとしたことが問題の発端ではないか。今後どのように住民と事業者の調整を図るのか。

A周辺住民と事業者が解決に向けた話し合いを行えるよう、場の設定を行う。



コロナ専用病棟の2重扉の入口(奥が専用病棟)



福祉避難所

高齢者、障害者、妊産婦など、避難所の生活において特別な配慮が必要な方とその家族を受け入れる避難所

動物愛護ふれあいセンター

動物の愛護及び管理や狂犬病予防に関すること等を行う施設として平成26年4月に開設した

ほじょ犬マーク

補助犬ユーザと補助犬がどこでも一緒に活動できる社会を築くために、身体障害者補助犬法の理解促進を図るマーク。厚生労働省が所管している



身体障害者補助犬法

平成14年10月に施行され、身体障害者が身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)を伴って社会で活動することを支援し、身体障害者の自立と社会参加を促進することを目的としている。補助犬の同伴については、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられている



新型コロナワクチン

Q予防接種法改正時の附帯決議でリスク情報の公表が求められているが、接種券に同封された説明書には副反応情報が網羅されていない。周知徹底すべきでは。

A集団接種会場では副反応情報をまとめたリーフレットを手渡している。

Qコロナワクチン接種開始後、柏市予防接種調査会は1回しか開いていないのか。

Aそれ以降は開かれていない。

Q頻繁に開催し、市民の健康を見守るべきだ。ブレークスルー感染はあるか。

A現在、2回接種済みの市民は4割程度だが、直近の療養患者210名のうち、2回接種済みの発症者は12名だった。

Q接種しても発症する。ワクチンに頼り過ぎない対策を求める。教職員が生徒に

ワクチンの接種状況を聞いた例が報道されたが、防止に努めているか。

A昨日、指導の通知を出した。

福祉避難所

Q災害対策基本法の改正により、福祉避難所の公表、受入れ対象の特定や調整の方向性が示された。本市では一時避難所から要配慮者を二次避難所に移動させる計画だったが、対応の転換が必要では。

A福祉避難所の協定は43施設と締結しているが、現状の体制を調査中だ。

Qニーズごとの対象者の把握状況は。

A要配慮者は全体で約1万2,000人だが、特に自分で避難できない方を確認したい。

Q酸素吸入器利用者など、電源確保が命に関わる人を優先してほしいがどうか。

A重要な課題として検討していく。

無所属



動物愛護について

Q動物愛護ふれあいセンターの機能を生かした犬猫夜間診療の開始に向けてはどのような進捗状況か。

A実施主体である獣医師会をはじめとする各関係機関と調整をしながら、できる限り早い時期に開設ができるよう準備を進めているところである。

人権教育について

Qいじめ防止、人権啓発学習には今後新たにどう取り組むのか。

A今後の取組として、義務教育を通して児童生徒が多様性を認め合える人間関係づくりについて、系統的に学習できる人権教育プログラムの開発検証を進めている。いじめ問題や性の多様性、同調圧力などをテーマにした教材開発に取り組んでいる。検証事業については、今年度3学期、市内小中学校数校での実施を計画している。検証事業の結果を踏まえて、教材の見直しを図り、4年度中の本プログラムの導入を目指して考えている。

無所属



巨大データセンターについて

Q7月30日にデータセンター布施対策委員会の方々が市長に会われたとき、彼らが「1名の事業者のための土地有効利用を図るために既存の住民80世帯超の生活環境に影響を与えるような地区計画決定をしたことをどう思うか」と質問したところ、市長は「地区計画により住民の皆さんに影響は出るが、地域活性化のためには必要な施設であり、理解をしてください」と発言した。これは我慢し

てくださいということか。6月定例会で、同対策委員会の代表が相談した弁護士が「市長は税収のために周辺住民を売ったということだ」と発言したことを紹介したが、市長の発言も弁護士の発言も符合していると思う。これが市長の真意か。

A柏市都市計画マスタープランに沿った企業用地による土地利用として都市計画提案が事業者よりなされたことから、地区計画の決定をした。事業者に特別な便宜を図ったものではない。

無所属



ほじょ犬マーク、補助犬トイレ

Q2002年に身体障害者補助犬法が施行され、公共交通機関や飲食店などで補助犬の受入れが義務化された。ただ、補助犬の多機能トイレへの同伴や排せつを社会全体が広く理解しているとは言えない状況である。多機能トイレを含む市内公共施設入り口などに広く「ほじょ犬マーク」のステッカーを貼っていただきたく要望するが、認識はどうか。

A身体障害者補助犬法では公共施設や公共交通機関、スーパーやレストラン、ホテルなど不特定多数が出入りする民間施設などに補助犬同伴の受入れを義務づけていると認識している。市では補助犬

使用者が立ち寄る公共施設については入り口に「ほじょ犬マーク」のステッカーを掲示しているほか、特にトラブルになりやすい多目的トイレに掲示するなど職員及び市民への理解啓発に努めている。今後は社会全体で「ほじょ犬マーク」の理解が進み、遠慮なく補助犬を同伴できるよう、周知啓発を進めていく。



「ほじょ犬マーク」のステッカー